

会員の広場



老夫婦の衝動買い

深瀬 拓（東京）

去年の夏のこと、近くのペットショップにいたシルバークレイの子猫と眼があつてしまった。看板のキャッチコピーを見ると、「2000年前に古代ローマ軍がイギリスを制圧した時ローマ人がイギリスに持ち込んだ猫の子孫」とある。「力強い体形、堂々とした貫禄を感じさせますが、よく遊び、よく眠る猫ちゃんです」等々とセールストークが続く。十数年前に、ストーンヘンジを訪れた際その西隣にあつたバース市に宿泊したことがあつたが、なんとここに古代ローマ人が建設した

巨大浴場の遺跡が残されていて、感銘をうけた記憶がある。地下の温泉の源泉にはギリシャや古代ローマのコインが投げ入れられていて、それが時代を越えて、そのままに展示されていた。

「古代ローマ」という言葉に滅法弱い小生、ローマ人、イギリス、バース、と連想が翔んで、子猫に行きついて、もういけません。一緒にいた女房に聞くと、一目惚れだという。なんのことはない。古代ローマと一目惚れのダブルセットで、あつという間に衝動買いに走ってしまった。

名前はまだない。いや店では「ブーちゃん」と呼んでいるという。なぜだとか何うと、品種がブリティッシュ・ショート・ヘアなので、頭の文字ブリティッシュから、ブーちゃんと呼んでいるとのこと。ブーちゃんは豚みたいで、かわいそうだ。これからは「ふーちゃん」と呼ぶことにした。五月生まれの女の子、1280グラムの、手のひらにのりそうな生後三か月のふーちゃんをそつと大事に抱えて、帰宅した。かくして予期せぬ、新しい家族が我が家に加わつた次第。今年二月に生後9か月

となつたふーちゃんは快調に3300グラムに成長し、体は一回り大きくなつた。

何の知識もなかった小生に獣医の先生が「そろそろ避妊手術を考えて下さい」とのこと。雌ネコは発情期になると、夜中に大きな声を発することがあり、近所迷惑になる、とのこと。女房は「避妊手術は可哀そう」、「子どもを生ましてやりたい」、「子どもを育てる母親のふーちゃんを見てみたい」という。小生もふーちゃんのことを見てみたい気にはなつたが、サラブレッドの馬じゃあるまいし、種付けはどうする？ 沢山の子どもが生まれたら、どうする？ など、どうも現実の人間は大変そうだ。ということ、諦めることにした。そして今年1月、三泊四日の入院で避妊手術を無事終了、抜糸も終わった。お腹の毛も剃られて、痛々しい感じだったが、致し方ない。三泊四日がいやに長く感じられ、寂しく思った。

ネコは日本語をしゃべらないから、こちらで類推する他に方法はない。この頃ようやく水を欲しがっているのが分かるようになってきた。「遊ぼう！」

というふーちゃんの気持ちも、食後のタイムミングから分かつてきた。ひよこの人形を吊り下げて、ぶらぶらしてやると、野生に返るらしく、飛び跳ねて、猛烈に追っかけてくる。時に物陰に隠れるかのように、低姿勢で待ち受けたりして、豹のような恰好をする。最近では食後に必ず「遊ぼう！」としがみついてくるので、朝と晩2回は付き合うことにしている。食事は小生の担当で、朝8時夕食5時、時間ぴったりに食事をさせている。いくら夜更かししても、翌朝には目覚ましをかけて、付き合うことにしている。これまでのだらしない生活から少し規則正しさを取り戻した感じがなくもない。

気がつけば、世の中はネコブームだとか。衝動買いの拳句、我が家はネコブームの直ツ只中になっているらしい。とにかく、ふーちゃんがやってくる来、随分生活に柔らかな彩りと予期せぬメリハリがついてきたように思う。「完食したぞー」、「いいウンチしたわよ」、夫婦の他愛ない会話がふーちゃんを中心に練りひろげられ、ふーちゃんに明け、ふーちゃんに暮れる生活が続いている。